

沼津工業高等専門学校	開講年度	平成29年度(2017年度)	授業科目	コンピュータ工学			
科目基礎情報							
科目番号	0011	科目区分	専門 / 選択				
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1				
開設学科	電気電子工学科	対象学年	5				
開設期	後期	週時間数	1				
教科書/教材	参考図書: 図解コンピュータアーキテクチャ入門 (堀啓太郎著: 森北出版)						
担当教員	高矢 昌紀						
到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータアーキテクチャとは何かを理解し説明できる。 ・コンピュータの原形であるノイマン型コンピュータについて理解し基本構成が説明できる。 ・コンピュータ内での数値、データの表現、演算等について理解し、説明できる。 ・コンピュータネットワークの概念を理解し、ネットワークの形態やプロトコルの特徴が説明できる。 							
ループリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
コンピュータアーキテクチャとは何かを理解し説明できる	コンピュータアーキテクチャとは何かを理解し具体例を挙げて説明できる	コンピュータアーキテクチャとは何かを理解し説明できる	コンピュータアーキテクチャとは何かを説明できない				
コンピュータの原形であるノイマン型コンピュータについて理解し基本構成が説明できる	コンピュータの原形であるノイマン型コンピュータについて理解し基本構成を具体例を挙げて説明できる	コンピュータの原形であるノイマン型コンピュータについて理解し基本構成の概要を説明できる	コンピュータの原形であるノイマン型コンピュータについて基本構成が説明できない				
コンピュータ内での数値、データの表現、演算等について理解し、説明できる	コンピュータ内での数値、データの表現、演算等について理解し、説明できる	コンピュータ内での数値、データの表現、演算等について、概要を説明できる	表現、演算等について、説明できない				
学科の到達目標項目との関係							
【本校学習・教育目標(本科のみ)】3							
教育方法等							
概要	情報社会の根幹を支えるコンピュータについて、「コンピュータアーキテクチャ」といわれる設計指針を学習することにより、現在主流となっているノイマン型コンピュータの基本構成について学習する。						
授業の進め方・方法	本講義では、コンピュータ技術の歴史、コンピュータ内での数値表現や演算方法、制御の流れなどを中心に講義する。また、近年急速に発達したコンピュータネットワークに関する技術として、ネットワークの形態や通信プロトコルについても講義する。						
注意点	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することができます 2. 授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。						
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
後期	3rdQ	1週	ガイダンス				
		2週	ノイマン型コンピュータ				
		3週	数の表現（1）				
		4週	数の表現（2）				
		5週	論理回路（組み合わせ論理回路）				
		6週	論理回路（順序回路）				
		7週	総合演習（1）				
		8週	中間試験				
後期	4thQ	9週	制御方式、OS、割り込み				
		10週	ALU				
		11週	メモリアーキテクチャ				
		12週	I/O				
		13週	ネットワークアーキテクチャ				
		14週	高速化技術				
		15週	総合演習（2）				
		16週	まとめ				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル			
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	90	0	0	0	0	10	0

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---